

2 / 用語の解説

行	用語	説明
か	固定的な性別役割 分担意識	男女を問わず個人の能力などによって役割の分担を決めることが適当であるにも関わらず、「男は仕事、女は家庭」「男性は主要な業務、女性は補助的業務」などのように、男性、女性という性別を理由として役割を固定的に分ける考え方。
さ	ジェンダー	「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの生物学的性別（セックス /sex）がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー /gender）という。
	性的マイノリティ	性的少数者、セクシュアルマイノリティともいう。性的指向、性的自認などの性の領域に関して社会的に少数派のこと。 LGBTQは、性的マイノリティのうち代表的なカテゴリーの英語の頭文字をとって作成された言葉で、Lesbian（レズビアン）は同性に性的指向が向く女性、Gay（ゲイ）は同性に性的指向が向く男性、Bisexual（バイセクシュアル）は同性も異性にも性的指向が向く人、Transgender（トランスジェンダー）は出生時に割り当てられた性とは異なる性自認を持つ人等を意味する。Qは2つの意味を持ち、Questioning（クエスチョニング）は性的指向や性自認が分からない、決めていない人等、Queer（クィア）は伝統的・社会的規範に当てはまらない多様な性の在り方等を意味する。
た	デートDV	恋人や交際相手などの親密な関係にある者（配偶者等を除く）の一方から他方に対して振るわれるあらゆる形の暴力のこと。身体的な暴力だけでなく、精神的、性的な暴力のほか、借りたお金を返さないなどの経済的暴力や、家族や友人との付き合いを制限するなどの社会的な暴力も含まれる。
	DV	Domestic Violence の略語。配偶者やパートナー、恋人を含む親密な関係にある、またはあった者から振るわれるあらゆる形の暴力のこと。身体的な暴力だけでなく、精神的、性的、経済的、社会的な暴力も含まれる。
な	二次受傷	相談員等の支援者が、被害者から深刻な被害状況等について多くの話を聞くうちに、自ら同様の心理状態に陥ること。
	二次被害	DVにより、心身ともに傷ついた被害者が、相談や保護等の過程において、DVの特性や被害者の置かれた立場を理解しない職務関係者の不適切な言動で、さらに傷つくこと。

行	用語	説明
は	バーンアウト	被害者の話を聞くうちに、聞いている相談員等の支援者が燃え尽きてしまうこと。
	PTSD（心的外傷後ストレス障害）	自分の力ではどうしようもない災害・犯罪・家庭内暴力などの恐怖体験や辛い経験が原因となり、様々な精神的症状が現れる病気。主な症状としては、恐怖体験を突然思い出すフラッシュバック、悪夢を見る、不眠、イライラなどがある。
	保護命令	<p>配偶者から身体的暴力又は生命等に対する脅迫を受けた被害者が、配偶者からの身体的暴力により生命又は身体に重大な危害を受けるおそれ大きいとき、裁判所が被害者からの申立てにより加害者に対し発する命令。「接近禁止命令」と「退去命令」がある。</p> <p>保護命令に違反すれば1年以下の懲役または100万円以下の罰金の罰則がある。</p> <p>「接近禁止命令」： 加害者が、被害者や被害者と同居している未成年の子や被害者の親族等の身辺につきまったり、住居、勤務先などの付近を徘徊したりすることや、被害者に対し無言電話、連続電話、ファクシミリ、電子メールの送付などを6か月禁止する命令。</p> <p>「退去命令」： 加害者に2か月、被害者とともに生活の本拠としている住居から出ていくこと、付近の徘徊禁止を命じること。</p>